

平成 28 年度 第 1 回福岡県国保共同運営準備協議会 議事要旨

日 時 平成 28 年 11 月 25 日（金）14 時 00 分

場 所 博多サンヒルズホテル 星雲の間

出席者 出席者名簿のとおり。

○議題 1 平成 28 年度の協議、検討状況について

県から、準備協議会における主な協議事項（納付金の算定方法・保険料の標準設定、財政安定化基金の運用、国保運営方針の作成）ごとに、平成 28 年度の協議、検討状況について説明を行った。

○議題 2 納付金の算定方法等に関する中間的な整理について

納付金の算定方法等に係る基本的な考え方等、議論の中間的な整理状況について、説明し、協議を行った。

<検討にあたっての基本的な考え方等>

- ① 平成 30 年度から施行される国保改革に対しては、県内の市町村国保の現状を踏まえて対応。
- ② 平成 30 年度直ちには保険料の県内均一化は行わない。市町村の医療費水準を平準化し、中長期的に均一化。
- ③ 公平な被保険者の負担となるよう、所得水準と医療費水準に応じて、各市町村で納付金を分担。
- ④ 上記を踏まえ、具体的な算定方法について、引き続き検討。

<協議において出された主な意見>

- ・ 保険料の県内均一化について、難しい課題であるが、県でリーダーシップをとって中長期的な均一化に向かってほしい、との意見があった。
- ・ 医療費の適正化について、これまでのやり方以外の方策がないのか、県から適切な助言をしてほしい、との意見があった。
- ・ 現在の市町村国保の赤字解消に向け、市町村一般会計から国保特会への貸付など、何らかの方策がとれないのか、県において検討して欲しい、との意見があった。

<結果>

- ・ 納付金の算定方法等に関する基本的な考え方等について、了承を得た。
- ・ その他、以上の意見を踏まえ、引き続き検討することとなった。

○議題3 その他

県から、準備協議会における「被保険者証の更新時期の統一」にかかる協議、検討状況について説明を行った。

その他、意見交換を行った。

<協議において出された主な意見等>

- ・ 地方単独事業にかかる国調整交付金の減額措置に関し、国の検討状況について質問があった。
- ・ 平成29年度早々から、国保改革の広報が必要、との意見があった。